

# 奈良市環境基本計画

世界的文化遺産と歴史および

豊かな自然が調和した都市・奈良



春日山原始林の大楠

奈良市

## はじめに

あをによし 奈良の都は  
咲く花の 薫ふがごとく  
今盛りなり

(卷三の三二八)

と万葉集に詠み歌われ、平城京の時代から連綿と栄えている奈良市は、国際文化観光都市として今、大きく飛躍しようとしています。

私たちの奈良市には、昨年12月に「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録された歴史的文化遺産や、これらと一体となった豊かな自然環境などがあります。

今日、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システム、自動車の排気ガスによる大気汚染等により私たちの日常生活そのものが、環境への負荷を増大させ、地球温暖化やオゾン層の破壊など人類の生存基盤そのものがおびやかされるまですべてになっています。

今、私たちは、一人ひとりのライフスタイルを見直し、環境に負荷の少ない生活を行い、良好な環境を将来の市民に引き継いでいくことが必要であります。

このような観点に立って、現在及び将来の市民の健康で文化的な生活を確保するために、本年3月に「環境基本条例」を制定し、環境の保全と創造に関する施策を総合的に推進するために、この度「環境基本計画」を策定いたしました。

この計画は、目標年度を西暦2010年とした本市の環境行政のマスタープランとして、また「奈良市新総合計画」が目指す都市づくりを環境面から実現するものであります。

今後は、目標とする環境像であります“世界的文化遺産と歴史及び豊かな自然環境が調和した都市・奈良”を目指して、市民、事業者、観光客等の皆さんと市が一体となって、緑豊かな良好な環境都市を実現していきたいと考えておりますので、皆さんの一人ひとりのご理解とご協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言等を賜りました奈良市環境審議会の委員の皆さんをはじめ、ご協力いただきました多くの皆様方に心からお礼申し上げます。

平成 11 年 3 月

奈良市長 大川靖則



# 目 次

第1章 奈良市環境基本計画の考え方	1
1.1 計画策定の背景	1
1.2 計画の目的	2
1.3 計画の位置づけ	2
1.4 計画の目指すもの	3
1.5 計画の対象	3
1.6 計画の期間	4
1.7 計画の範囲	4
第2章 奈良市の環境の現状と課題	5
2.1 奈良市の概況	5
2.2 歴史環境の現状と特性・課題	10
2.3 自然環境の現状と特性・課題	12
2.4 都市環境の現状と特性・課題	13
2.5 生活環境の現状と特性・課題	15
2.6 資源の循環的な利用の現状と特性・課題	19
2.7 市民及び事業所活動の現状と特性・課題	22
2.8 地球環境問題に対する現況と課題	26
2.9 地域別の環境の特性・課題	27
第3章 奈良市の望ましい環境像	33
3.1 理 念	34
3.2 望ましい環境像	35
3.3 基本目標	36
3.4 各主体の基本的役割	39

第4章 環境を保全・創造するための施策	40
4.1 環境施策の総合体系	40
4.2 施策の展開	42
1 歴史と文化を守り育むまち	42
2 自然や生き物を大切にするまち	47
3 安全で快適な都市環境をつくるまち	52
4 健康に暮らせる生活環境を守るまち	59
5 資源の循環的利用を図るまち	65
6 すべての主体の参加と連携を図るまち	71
7 地球環境を考えて、世界の人々と手を結ぶまち	76
□主体の役割のまとめ	80
4.3 地域別の施策	85
4.3.1 東部ゾーン	86
4.3.2 中央市街地ゾーン	88
4.3.3 南部ゾーン	90
4.3.4 中部ゾーン	92
4.3.5 西北部ゾーン	94
第5章 計画の推進にあたって	96
5.1 推進体制の整備	96
5.2 進行管理を進めるために	97



## 奈良市の花木鳥

奈良市は、平成10年2月1日に市制100周年を迎えました。  
この節目の年に、次の100年を目指して誇れる奈良市を  
創造していくため、市のシンボルとしての花・木・鳥を  
制定いたしました。



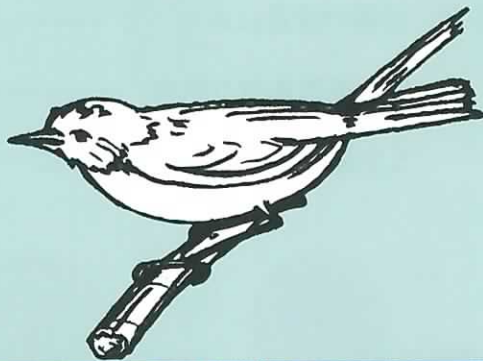
### ナラヤエザクラ

東大寺知足院の裏山の八重桜は古歌にも詠まれ、国の天然記念物にも指定されている。4月下旬から5月上旬にかけて白色ないし淡紅白色の花を咲かせ、奈良を訪れる多くの人々に大変親しまれています。



### イチイガシ

古来より奈良盆地やその周辺には「イチイガシ」がよく生育し、今も春日大社境内にも「イチイガシ巨樹群」があり、昭和56年2月12日に市の天然記念物に指定されました。一般には「イッチン」とか「ドングリの木」と呼ばれています。



### ウグイス

春を告げる鳥として知られる「ウグイス」は、奈良市でも広く分布し、市街地でも鳴き声を聞くことができます。古歌にも多く詠まれ、「鶯の滝」と呼ばれる滝や、鶯塚古墳もあり、大変なじみがあります。